

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコ  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 貴俊  
(東証1部・コード8892)

## ESG/SDGs 評価融資 35 億円の資金調達について

当社は、この度株式会社三井住友銀行（頭取 CEO 高島 誠、以下「三井住友銀行」という。）が提供する「ESG/SDGs 評価融資」より、2020年3月実施の「藤白台5丁目プロジェクト」における資金調達に続き、当社が現在茨城県つくば市において開発を手掛けている「つくばクレオ（商業施設）プロジェクト」においてシンジケートローンによる資金調達を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 内容

「ESG/SDGs 評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長 谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取り組みや情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取り組みや情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取り組み事例などを還元いただく融資商品です。

当社は当該評価の「良好なESG・SDGsの取り組みと情報開示を実施している」とする7ランク中の上位3番目に相当する総合評価ランク「A」を獲得し、三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケートローンの内「ESG/SDGs 評価融資」より、35億円のプロジェクト資金を調達いたしました。当該つくば駅前開発プロジェクトは、つくば駅前街区全体での活性化を目指し、当社が取得した商業施設「つくば Q' t(キュート)」「つくば MOG(モグ)」及び「つくばクレオ（旧西武百貨店・イオン）」を一体でリニューアル開発するものであり、商業施設の新たな名称は地域密着型ショッピングセンター「(仮称) <sup>トナリエ</sup> tonarie CREO」とする予定です。

#### 2. ESG/SDGs 評価内容

今回の当社に対するESG/SDGs 評価結果は、「事業活動における環境負荷低減の取り組み」、「ローカル・グローバルコミュニティへの配慮」、「サステナビリティ・マネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。また、企業経営において良好なESG側面の取り組みを実施しており、事業を通じたSDGs 達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

##### ESG側面の取り組みによる評価

- ① 環境マネジメントシステムを導入し、自社およびマンションや商業施設における環境負荷低減に取り組んでいる点
- ② 地域密着型の商業施設における介護人材の育成などまちづくりを通じた地域活性化に事業として取り組んでおり、認知症サポーターが従業員にも広がっている点
- ③ 社長室のなかに「ESG推進グループ」を設置し、「エコアクション21」認証に基づき「ESG経営レポート」を作成、公表している点

上記に加え、事業を通じてSDGs が示す「目標11 住み続けられるまちづくり」、「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」の達成に向けた意欲もあるとの評価となりました。

当社は、経営戦略の一つに「ESG推進による社会課題への対応」を掲げております。今後も当社グループは「環境・社会・ガバナンス」の観点から、引き続き ESG 経営を推進し企業価値を高めてまいります。

※1 ESGとは

ESGとは環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Corporate Governance) の頭文字をとったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

3. シンジケートローンの概要

契約締結日	2020年12月23日
アレンジャー	三井住友銀行
エージェント	三井住友銀行
組成金額	5,400百万円
貸出人	三井住友銀行 他7行

以上